

## 補助不交付

# 審査委員の決定無視

愛知芸術祭  
文化庁決定

委員、抗議の辞意

文化庁が、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」への補助金約7800万円の全額不交付を決定した。

野田氏によると、不交付決定について文化庁から委員に事前の相談はなく、連絡があったのは9月26日の不交付発表から3日後の29日でした。審査委員会では、4月に同補助金について審査し採択を決定していくば、外部の専門委員会を開き方

置する意味がなくなる」と

話しました。

野田氏は、「審査委員会を

開き4月に採択したもの

を、9月末になつて文化

府のなかだけでひっくり返

すのは問題だ。審査委員会

は、「事業の継続性」等を

の決定を無視するもので、

適正に審査できなかつたこ

とを不交付の理由にしてい

とをやつてしまつたことは

大問題だ」と述べました。

(伊藤幸)

統の可能性は一定回復されており、補助金を出さない根拠は崩れている。一部の展示を理由に全額不交付というのも理屈にあわない」と指摘。「決定が官邸主導、文科大臣の意向で進められていると感じる」と語ります。

野田氏は、文化芸術振興基本法が文化芸術基本法へ

と2017年に改定された

さい、憲法21条がうたう「表

現の自由」の文言が盛り込

まれたことに触れ、「文化庁

がこれを否定するようなこ

とをやつてしまつたことは